

# CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 2014年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内訳											
<b>■1.「地球温暖化対策」の推進</b>														
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.00	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	2 外皮性能								
	0.0	0.00												
	3.0	1.00	LRI エネルギー	1 建物の熱負荷抑制										
小計	3.0	0.03												
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LRI エネルギー	2 自然エネルギー利用										
小計	3.0	0.07												
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ ガス給湯器(エコジョーズ)の使用	3.6	1.00	LRI エネルギー	3 設備システムの高効率化										
小計	3.6	0.33												
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	0.0	0.00	LRI エネルギー	4 効率的運用	4.1 モニタリング									
	0.0	0.00	LRI エネルギー	4 効率的運用	4.2 運用管理体制									
小計	0.0	0.00												
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 排出率は一般的な建物計画	3.0	0.10	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水									
	3.0	0.11	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	1 雨水利用システム導入の有無								
	3.0	0.05	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	2 雜排水再利システム導入の有無								
	2.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減									
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用									
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用									
	1.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用									
	2.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材									
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み									
小計	2.6	0.40												
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 排出率は一般的な建物計画	3.3	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮										
小計	3.3	0.17												
<b>1.「地球温暖化対策」の推進の評価</b>														
3.1	0.64													
<b>■2.「ヒートアイランド対策」の推進</b>														
<b>2.1 溫熱環境の向上</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 舗装面積の軽減、敷地緑化に努める	1.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出										
	2.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上									
	2.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善									
小計	1.5	0.97												
<b>2.2 交通負荷抑制</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 敷地内に最大限の台数設置に努める	3.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制								
小計	3.0	0.03												
<b>2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>														
1.6	0.21													
<b>■3.「長寿命化対策」の推進</b>														
<b>3.1 耐用性の向上</b>														
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.18	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震	1 耐震性								
	3.0	0.27	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震	2 免震・制振性能								
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 車体材料の耐用年数								
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
	2.0	0.05	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
	3.0	0.05	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
	2.0	0.11	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔								
小計	2.8	0.35												
<b>3.2 設備の更新性</b>														
(コメント) ※設計の計画上段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性								
	2.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給排水管の更新性								
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性								
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性								
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性								
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペースの確保								
小計	2.8	0.65												
<b>3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>														
2.8	0.15													
<b>■重点項目の総平均(上記3項目)</b>														
	2.7													